

2024年度「自己評価結果報告書」

学校法人 枝光学園
枝光学園幼稚園

当園ではこの度、2024年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

カトリックの精神に基づきながら、子ども達に暖かい雰囲気と良い環境を整え、時代に適した保育を行いたいと考えています。

その為に常に家庭、特に母親との連絡を密にし、神様を愛し、他人をも愛する事の出来る心を養い、自立心や正しい躰を身につけさせたいと願っています。

又、自然とふれあう機会を持つことによって、全てのものが持つ命の大切さを教えると共に、情操教育に重点を置き、遊びの中から明るく素直な、思いやりのある幼児に育てることを目的にしています。

II. 今年度の重点目標

●教育内容の質の向上

●安全・衛生危機管理の充実

●教職員間の連携

●自己管理

●カトリックの幼稚園として

●保護者との連携・対応

III. 評価項目と取組み状況

重点課題		評価項目	具体的に取組めたこと	
1	教育内容の質の向上	・保育内容、各種行事等を抜本的に見直し、園全体で新たな視点で考えていく。 ・子どもの自主性を伸ばすことができるような、子ども中心の保育を目指す。	A	・各学年とも子どもの人数に変動があったので、その学年にあった充実した活動ができるように園全体で相談しながら、様々な視点を意識した保育を行った。打合せや振り返りの機会を設け、問題点があればすぐに改善する取り組みもできた。 ・週一回の仕出し弁当注文を取り入れた。全園児が同じメニューを食することで食への関心が広がり、食育に繋がっていると感じる。
2	安全・衛生 危機管理の充実	・様々な災害を想定して、訓練を充実させる。 ・緊急時対応マニュアルの理解を職員全員で深める。 ・感染症対策を引き続き行い、希薄にならないようにする。	A	・警察の方々に来園いただき教職員の研修（不審者対応）を行った。また定期的に地震、火災、Jアラートの訓練も子ども達と取り組むことができた。その都度、訓練時の対応について話し合い、各自の理解を深める努力を行った。 ・基本的な感染症対策を行った成果もあり、今年度は園全体の規模になるような感染症の流行は見られなかった。

2024年度「自己評価結果報告書」

学校法人 枝光学園
枝光学園幼稚園

重点課題		評価項目	具体的に取り組めたこと	
3	教職員間の連携	・ 仕事内容を全員で共有できるようにファイルを作成し、閲覧できる環境を作る。	A	行事の大小に関係なく行ったことはファイル化し、写真なども保管、置き場もわかりやすく手に取りやすいようになっている。またパソコンを2台に増やしたことにより、職員間での仕事効率を上げることができている。
4	自己管理	・ 各自、時間の管理に対する意識を持ち、先を見通して無理のない仕事ができるよう徹底する。	A-	常に先を見通して準備するよう心掛けた。学年で余裕のある際は声をかけ合い全体で仕事を進めることができた。自宅研修期間などを効果的に活用し、見通しをもった活動準備ができた。しかし、各々では不十分であったと感じている声が多く聞かれたので、全体としての取り組みをもう一歩進められるよう検討したい。
5	カトリックの幼稚園として	・ 神父様の宗教講話の継続をお願いし、充実を図る。 ・ 教職員からそれぞれに「共にいる神さま」を日々発信する。	A	・ 神父様にご来園いただき、保護者、年長児に神さまのお話をさせていただくことができた。教会で四園合同の七五三のお祝いが開催できたことは非常に良かった。 ・ 日々の保育の中で、神さまがつくってくださったもの、生き物植物を含め命の尊さ、大切さなどについて伝えている。生活の中でも日々のお祈り、全体の輪などの積み重ねを大切に行うことで、子ども達は神さまを身近に感じることができた。
6	保護者との連携・対応	・ 保護者に対するきめ細かなコミュニケーションをとれるよう努める。 ・ 保護者からの要望や意見に対して、公平かつ迅速な対応を心掛ける。 ・ 予定表や行事の詳細等はできる限り早く伝える。	A	・ 登降園時には保育者と保護者が直接顔を合わせ、必要に応じてきちんとお話を伺うことができている。 ・ 面接票が常に設置されているので大勢の方と面談の機会をもつことができた。申込用紙にはあらかじめ相談内容が記入されているので、内容に沿って細やかな対応ができた。 ・ 年間行事予定表を年度初めに配布した。また個々の詳細や新しい取り組みに関する情報説明もなるべく早く通知した。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

2024年度「自己評価結果報告書」

学校法人 枝光学園
枝光学園幼稚園

Ⅳ. 今後取り組むべき課題

1	教育内容の質の向上	・保育内容、各種行事等を抜本的に見直し、園全体で新たな視点で考えていく。 ・子どもの自主性を伸ばすことができるような、子ども中心の保育を目指す。
2	安全・衛生 危機管理の充実	・様々な災害を想定して、訓練を充実させる。 ・緊急時対応マニュアルの理解を職員全員で深める。 ・感染症対策を引き続き行い、希薄にならないようにする。
3	教職員間の連携	・仕事内容を全員で共有できるようにファイルを作成し、閲覧できる環境を作る。
4	自己管理	・各自、時間の管理に対する意識を持ち、先を見通して無理のない仕事ができるよう徹底する。
5	カトリックの幼稚園 として	・神父様の宗教講話の継続をお願いし、充実を図る。 ・教職員からそれぞれに「共にいる神さま」を日々発信する。
6	保護者との 連携・対応	・保護者に対するきめ細かなコミュニケーションをとれるよう努める。 ・保護者からの要望や意見に対して、公平かつ迅速な対応を心掛ける。 ・予定表や行事の詳細等はできる限り早く伝える。

Ⅴ. 学校関係者の評価

日常生活が戻り 季節行事のすべてをコロナ禍以前の環境で行うことができました。コロナ禍の経験を経て、幼稚園が率先して感染症対策に細心の注意を払ってご配慮くださり、たくさんの子どもの笑顔が溢れ、安心して過ごすことができました。 昨年に続き希望者を対象に園長先生による面談を設けてくださり、子育てにおける日頃の悩みや、成長に関しても相談することができました。子どもの学びを第一に共に考えくださる園長先生からのお言葉は大変有難く、母として穏やかで広い心を持つことができ、親子ともに成長させて頂きましたことに心より感謝しております。 今年度からは「わくわくランチ（宅配のお弁当）」が始まり、皆で同じものを頂く 楽しさや、まだ口にしたことのない食べ物にも興味を持つことができ、大変有難く存じます。 また希望者には延長保育を実施くださり、異年齢の子どもたちとの交流が深まる素晴らしいひと時となり、親子共々有意義な時間を過ごすことができました。 その他にも希望者に降園後に学ばせて頂くことのできる質の高い英語やピアノの課外レッスンは、子どもの情操を育むことができ、様々なことへの興味関心に繋がったと感じております。 子どもの豊かな心を育み、自信を持って正しい方向へと導いてくださる環境を整えてくださり、保護者一同感謝しております。

学校評価委員 宮原麻美
学校評価委員 栗林佳奈子